■GGG+フォーラム2016　G7サミットとグローバル・ヘルスの課題

■2016年2月5日開催（ルポール麹町）

■参加者

世界エイズ・結核・マラリア対策基金（Global Fund）、Gaviワクチンアライアンス、グローバル・ヘルス技術振興基金（GHIT）、厚生労働大臣、国会議員、総理大臣官邸、内閣官房、財務省、外務省、厚労省、独立行政法人国際協力機構（JICA）、各国大使、国際機関、民間企業、アカデミア、ポリオ患者等

■内容

世界は2014年にポリオ流行、西アフリカではエボラ出血熱が流行、2015〜16年、アメリカ大陸でジカ熱流行を経験した。このような中、フォーラムでは2016年5月開催のG7伊勢志摩サミットで日本は議長国としてどのような貢献ができるかを意見交換した。感染症対策に関連し、Global Fund、Gaviワクチンアライアンス、GHITがこれまでの成果を発表した。また、グローバル・ヘルスの課題としてガバナンス強化、人間の安全保障、保健システム強化、日本の知見の活用などが確認された。このほか、新しい資金メカニズムとして「ローンコンバージョン」、官民連携パートナーシップ構築の取り組みが紹介された。参加者からは日本の技術の海外展開・官民連携ファンドの活用の期待が述べられた。